

生活調べアンケート 第2回調査結果

実施目的

新型コロナウイルス感染症の影響により目まぐるしく社会状況・生活環境が変化する中で、児童生徒には様々な心身のストレスがかかっている可能性がある。そのため、児童生徒の心身の状態を捉え、学校生活への不適應の未然防止・早期発見をすべく「生活調べアンケート」を実施した。

対象

令和3年10月1日～10月15日

実施期間

奈良市立学校 小学生（小2～小6）
中学生（中1～中3）

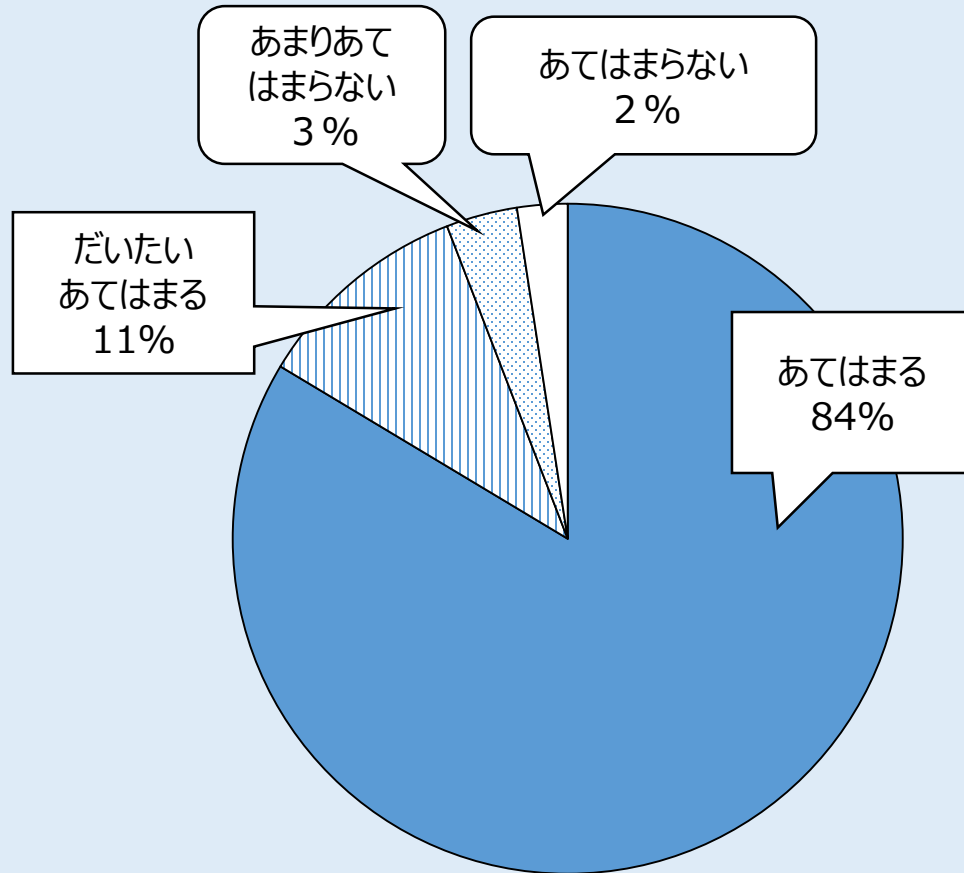
アンケート調査内容

大項目	小項目
①気持ちの安定度について	5項目
②生活の安定度について	4項目
③困ったときにSOSが出せるかについて	2項目

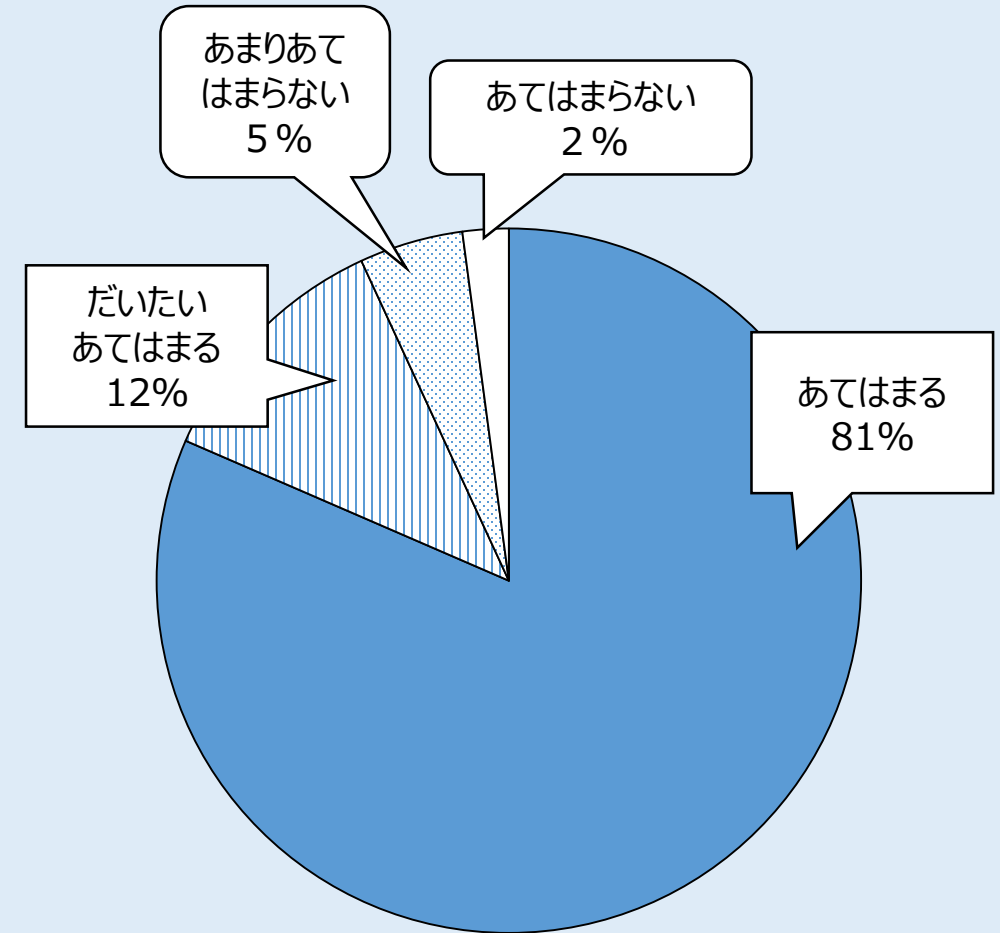
質問1	朝ごはんや昼ごはんを食べている
質問2	なかなか眠れないことがある
質問3	勉強に集中できないことがある
質問4	むしゃくしゃしたり、イライラしたり、かっとなったりする
質問5	何事もやる気がおきない
質問6	頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある
質問7	体を動かすなど、よく運動している
質問8	毎日が楽しい
質問9	悩みごとを話せる人や場がある
質問10	困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる
質問11	学校や家で何か不安を感じたことがある

質問1 朝ごはんや昼ご飯を食べている

小学生

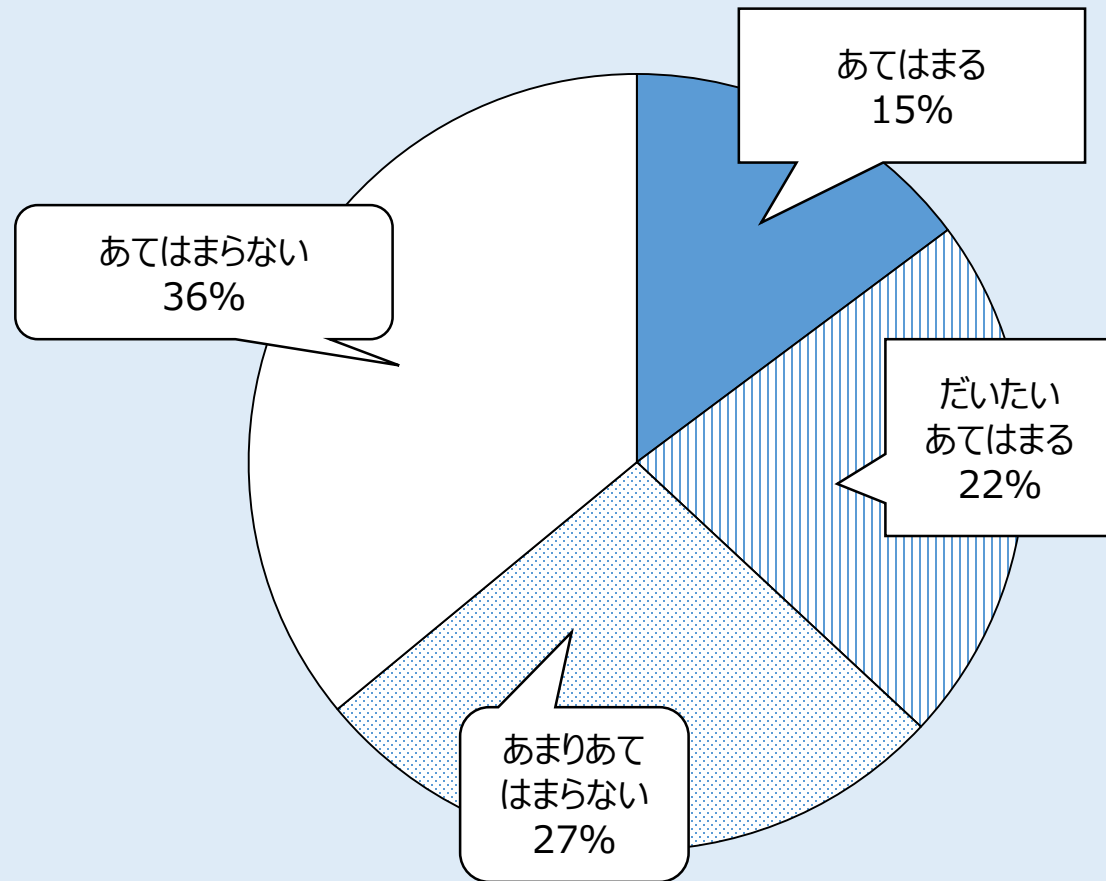


中学生

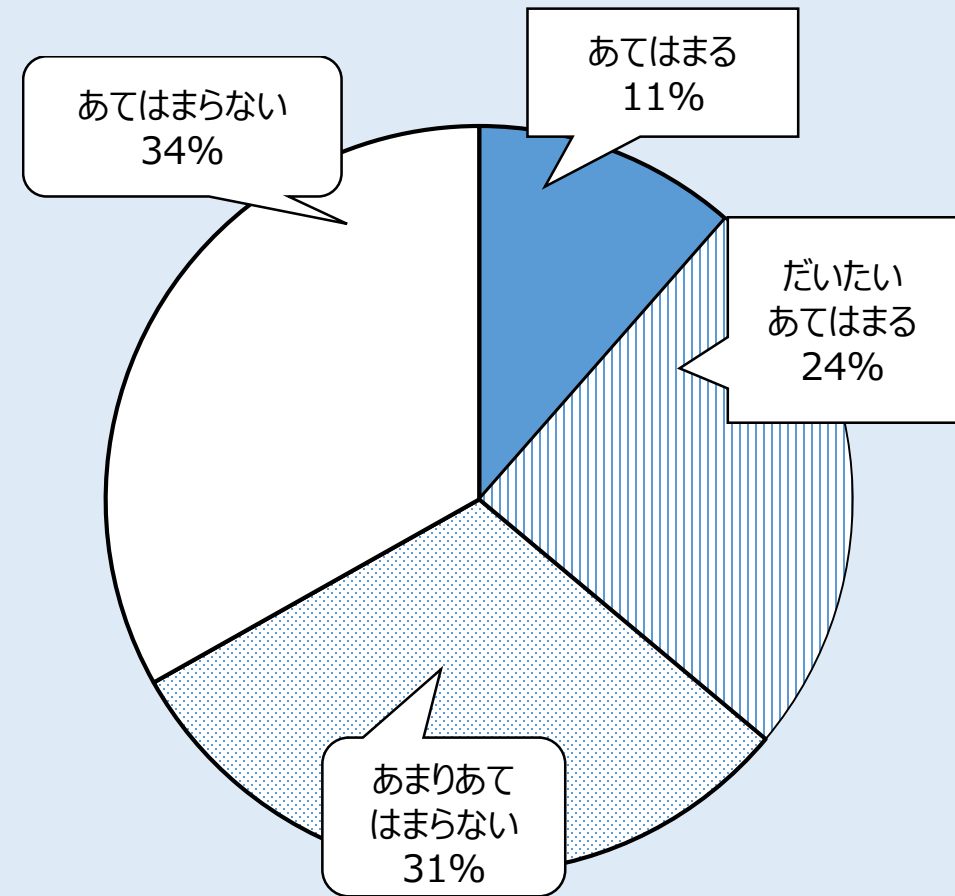


質問2 なかなか眠れないことがある

小学生

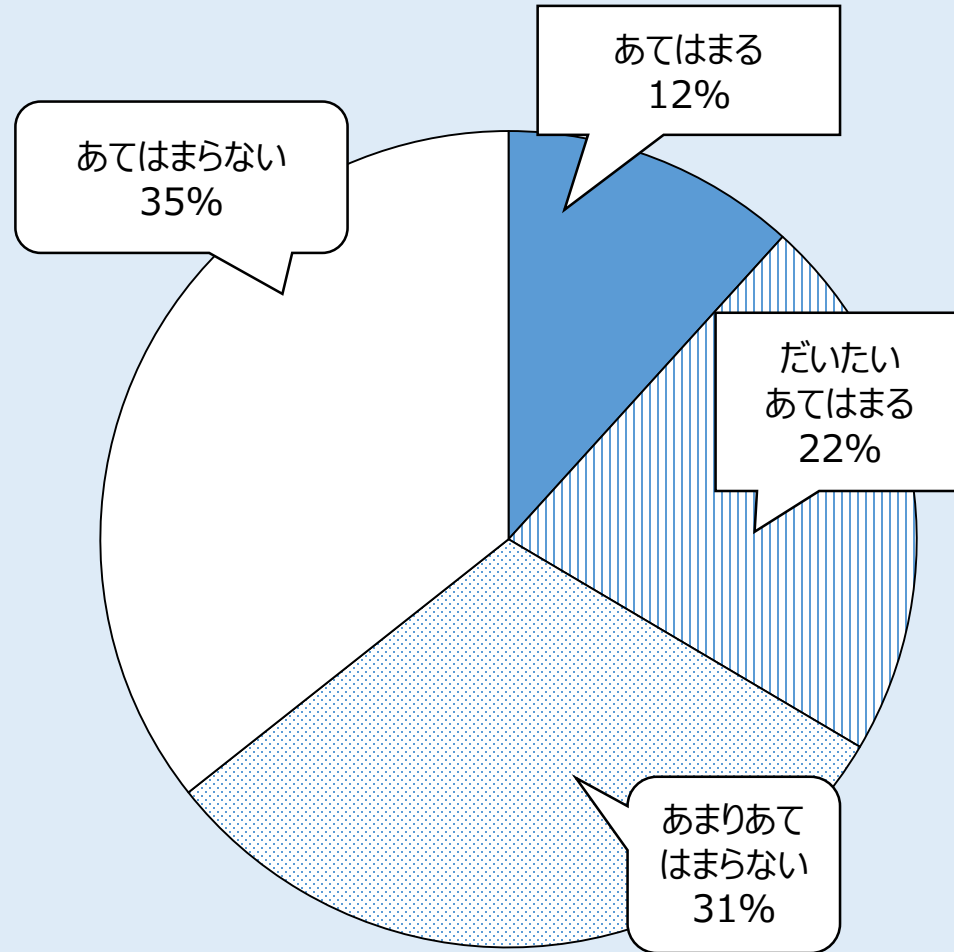


中学生

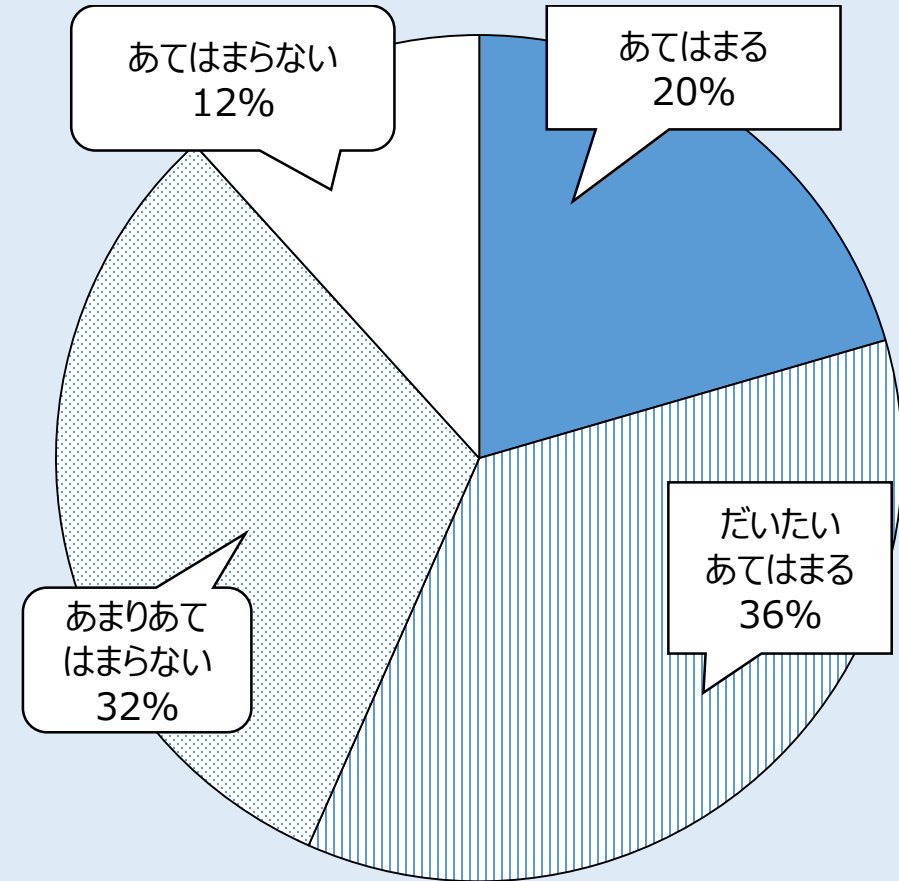


質問3 勉強に集中できない

小学生

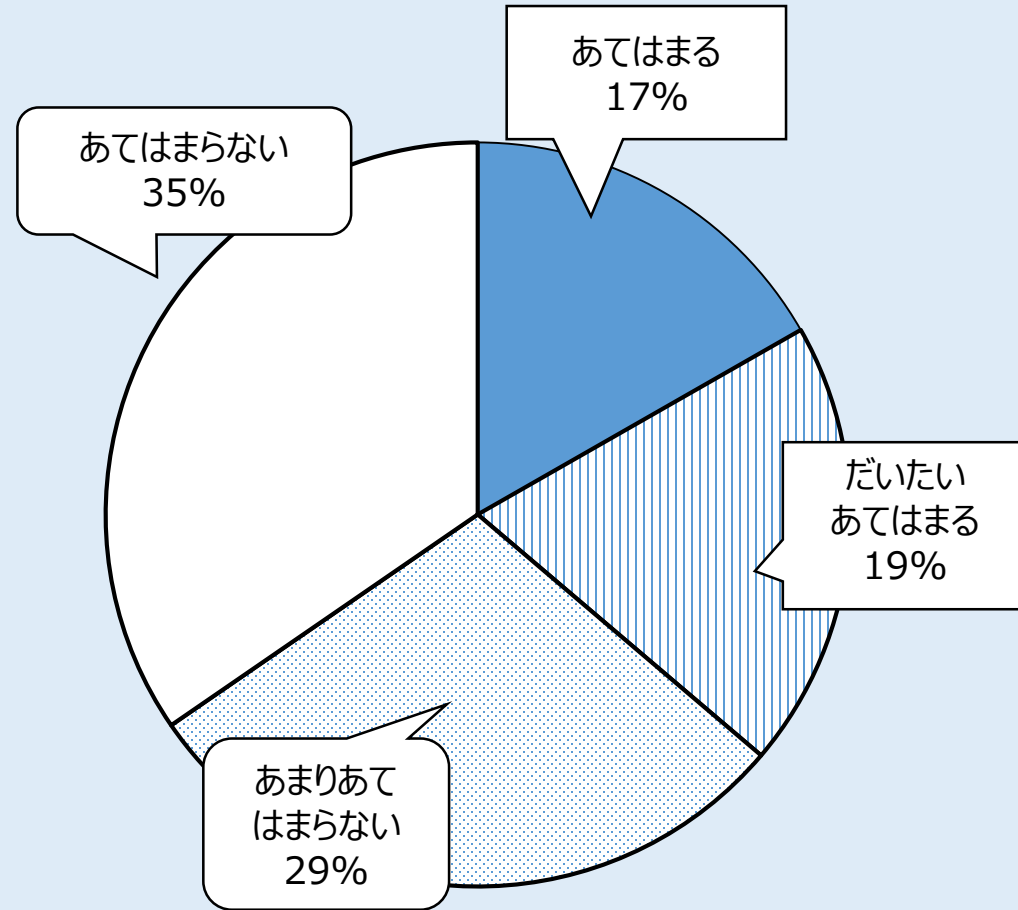


中学生

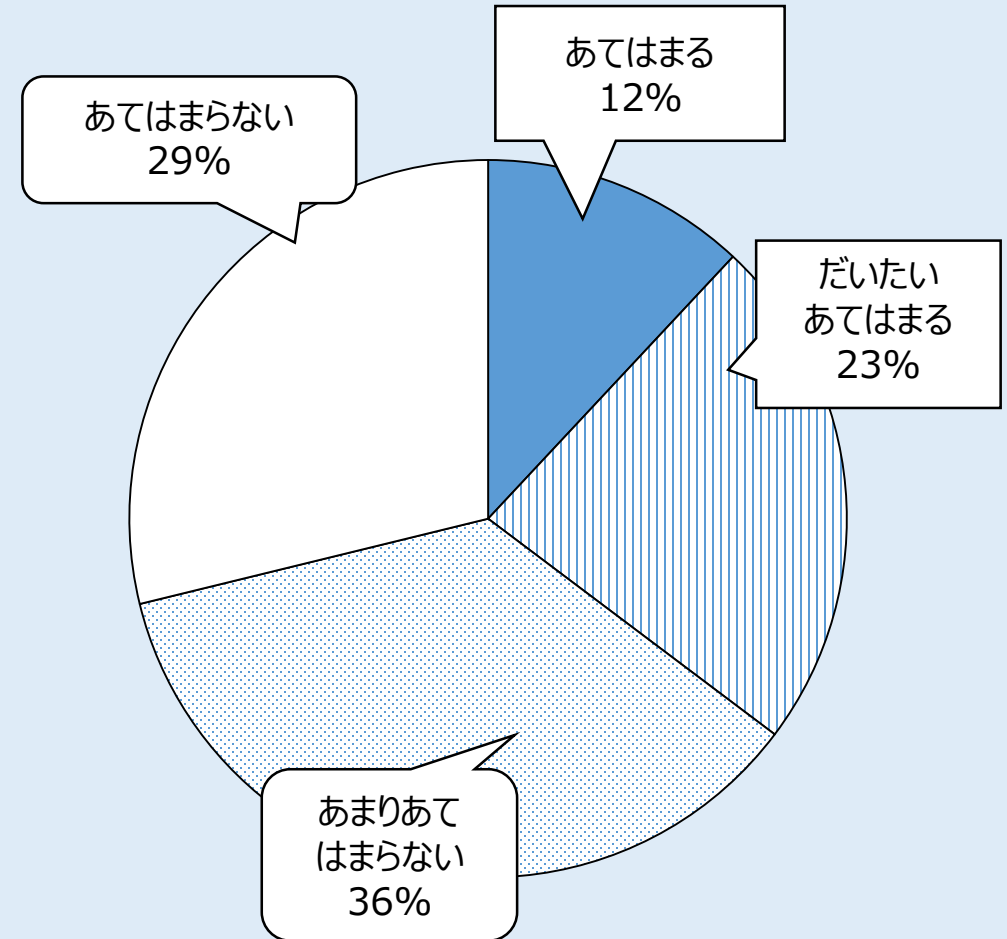


質問4 むしゃくしゃしたり、イライラしたり、カッとしたりする

小学生

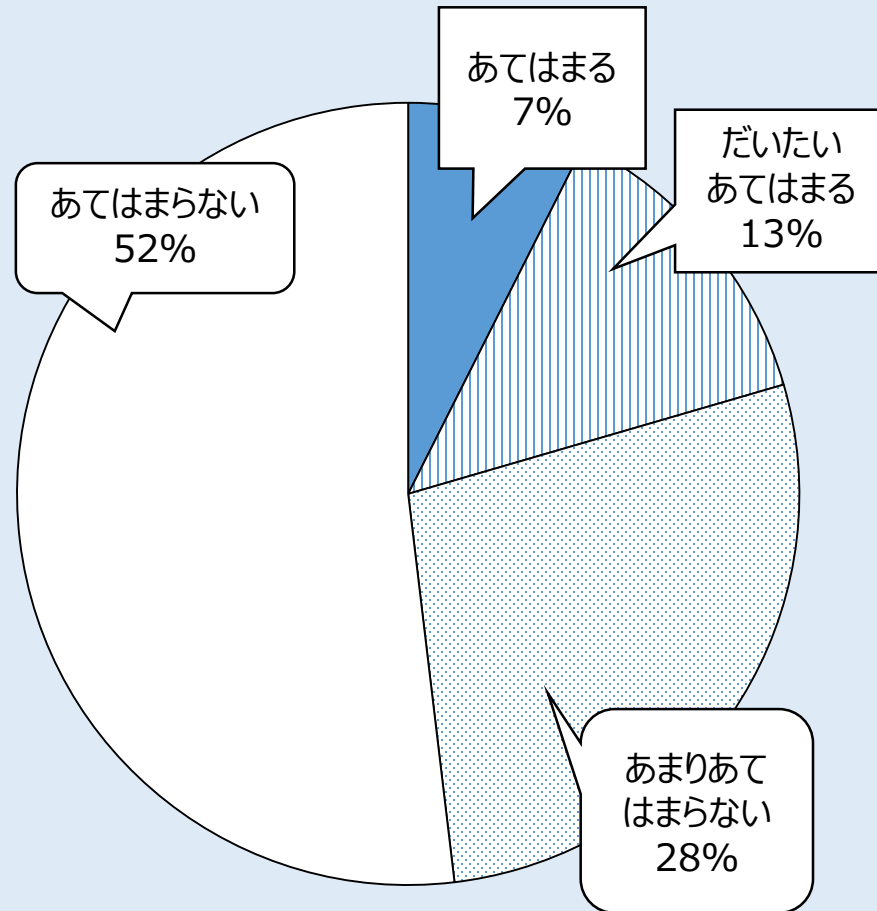


中学生

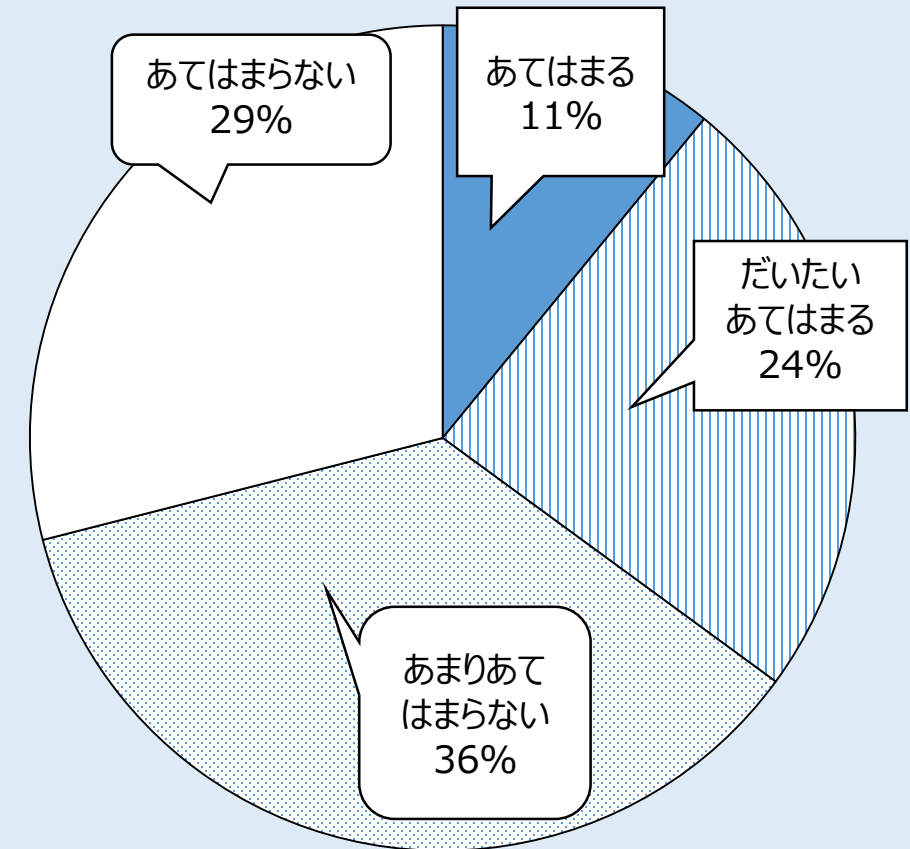


質問5 何事にもやる気がおきない

小学生

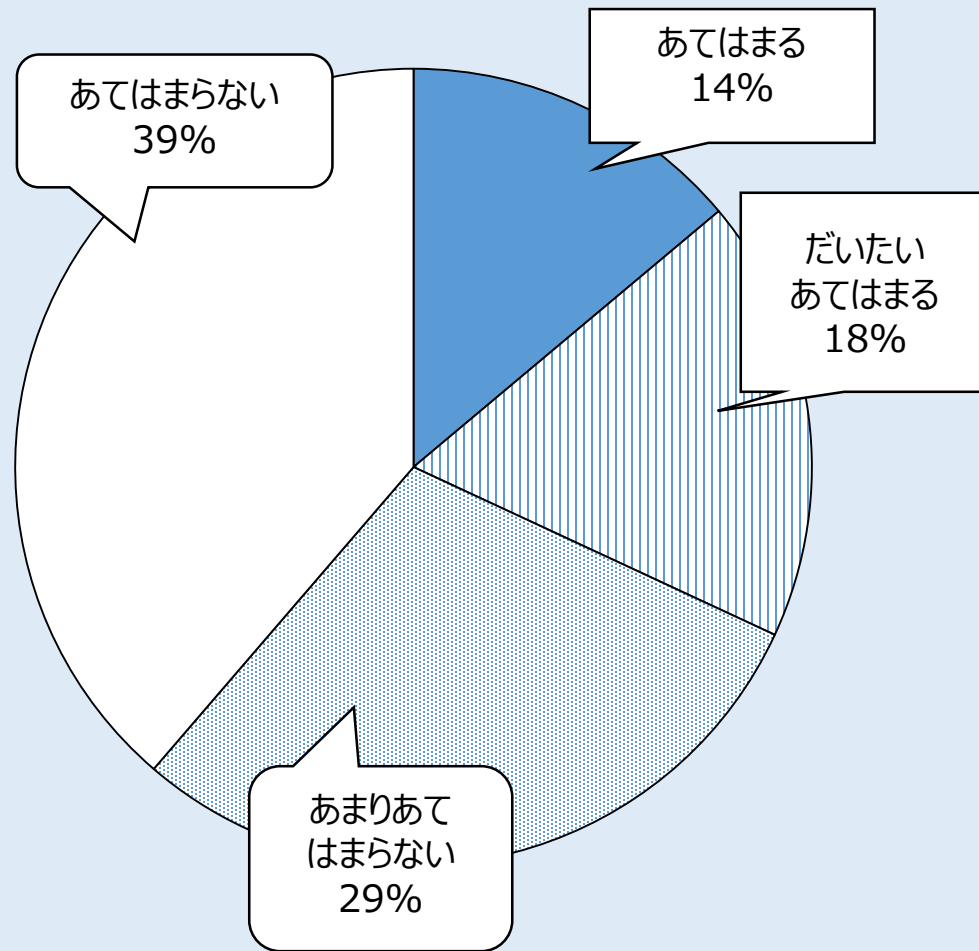


中学生

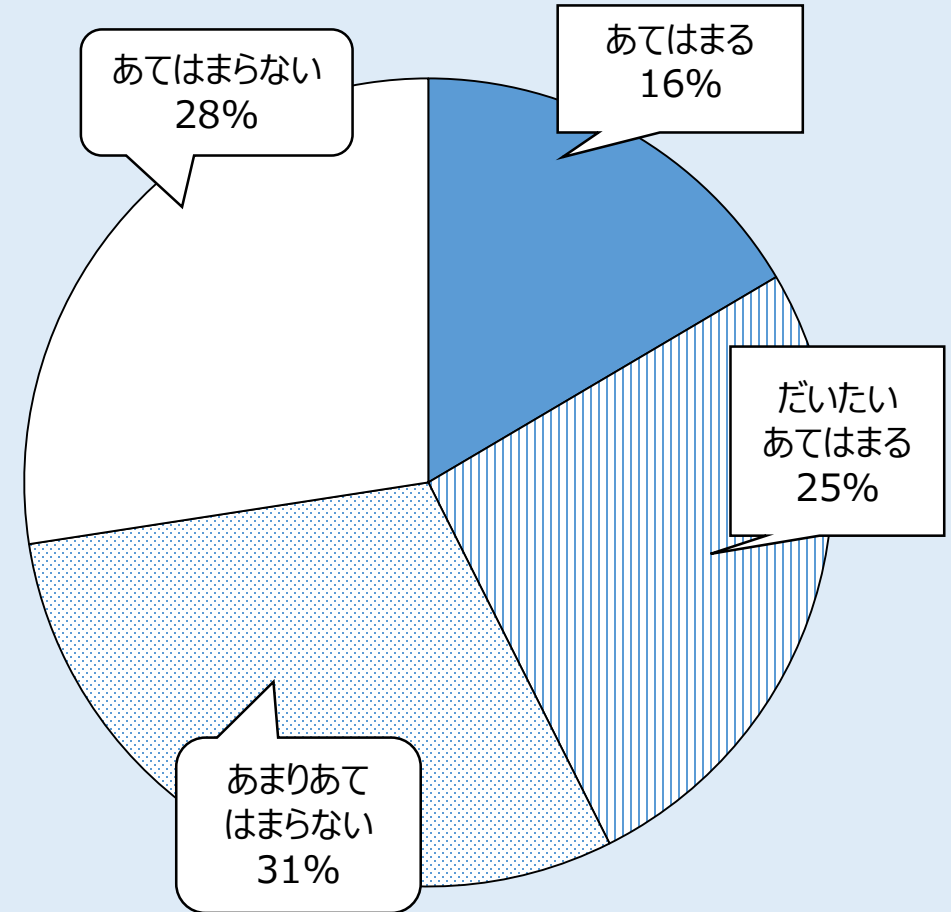


質問 6 頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある

小学生

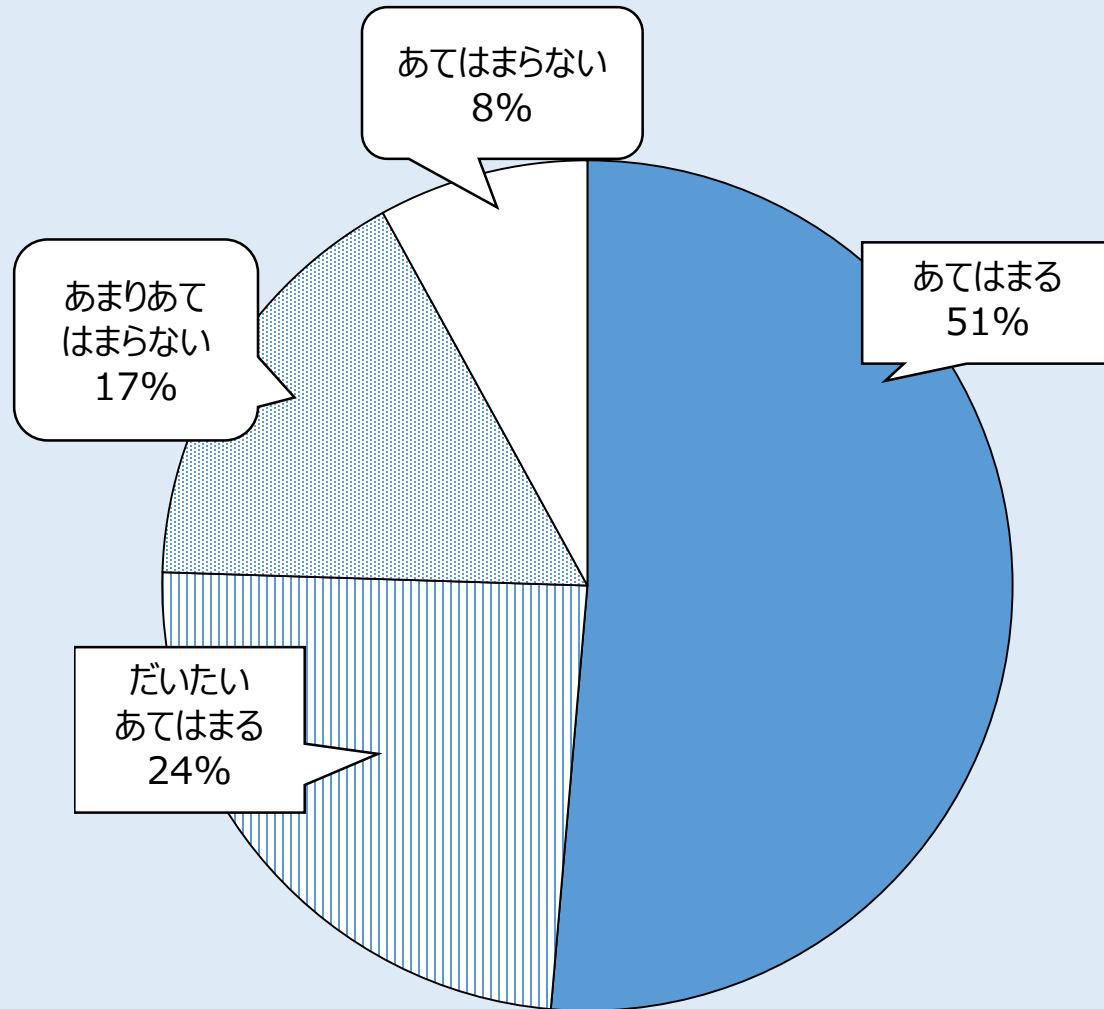


中学生

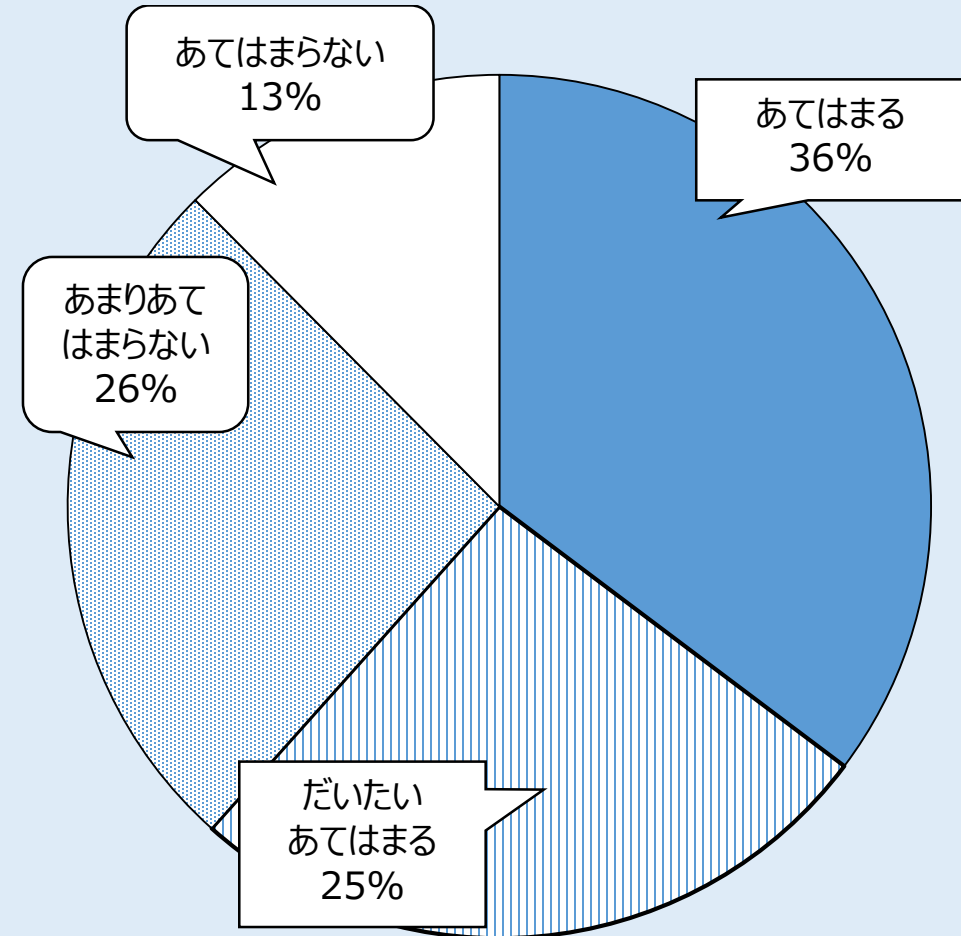


質問7 体を動かすなど、よく運動している

小学生

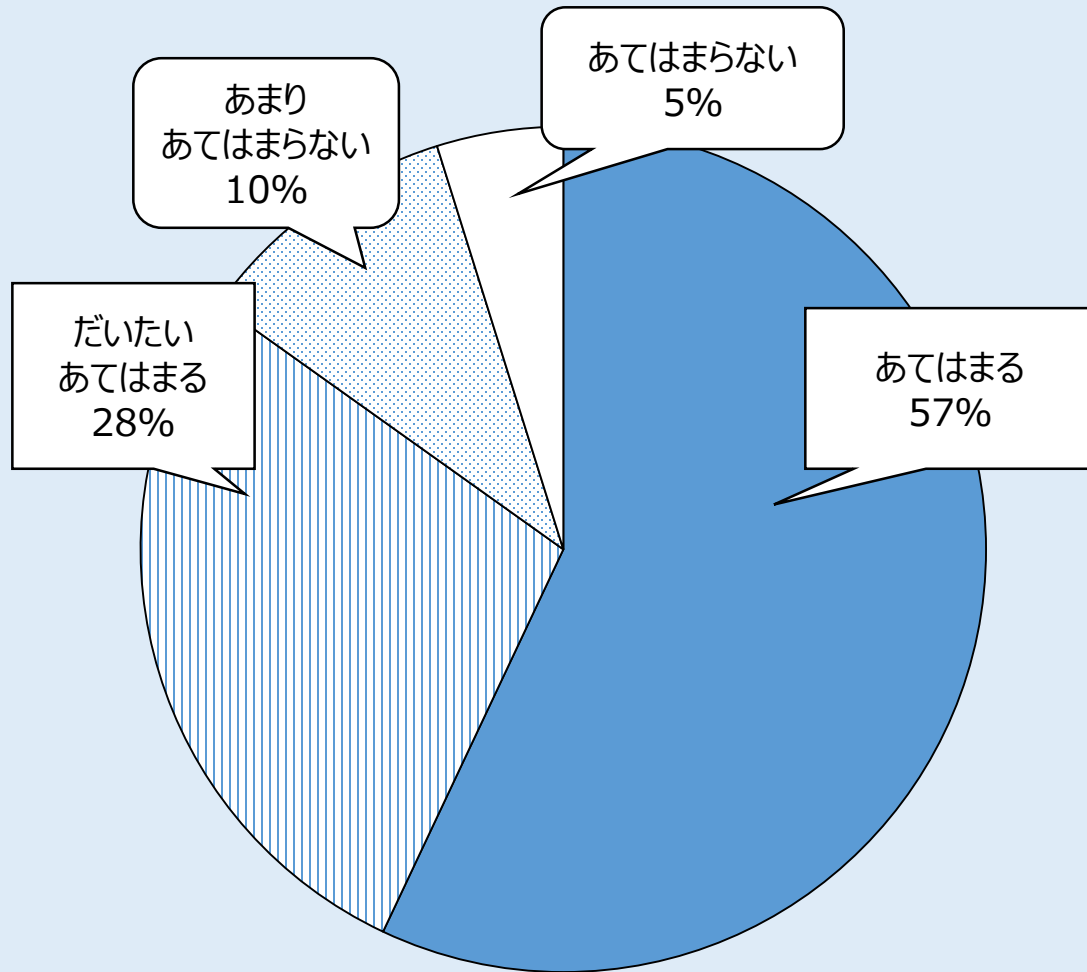


中学生

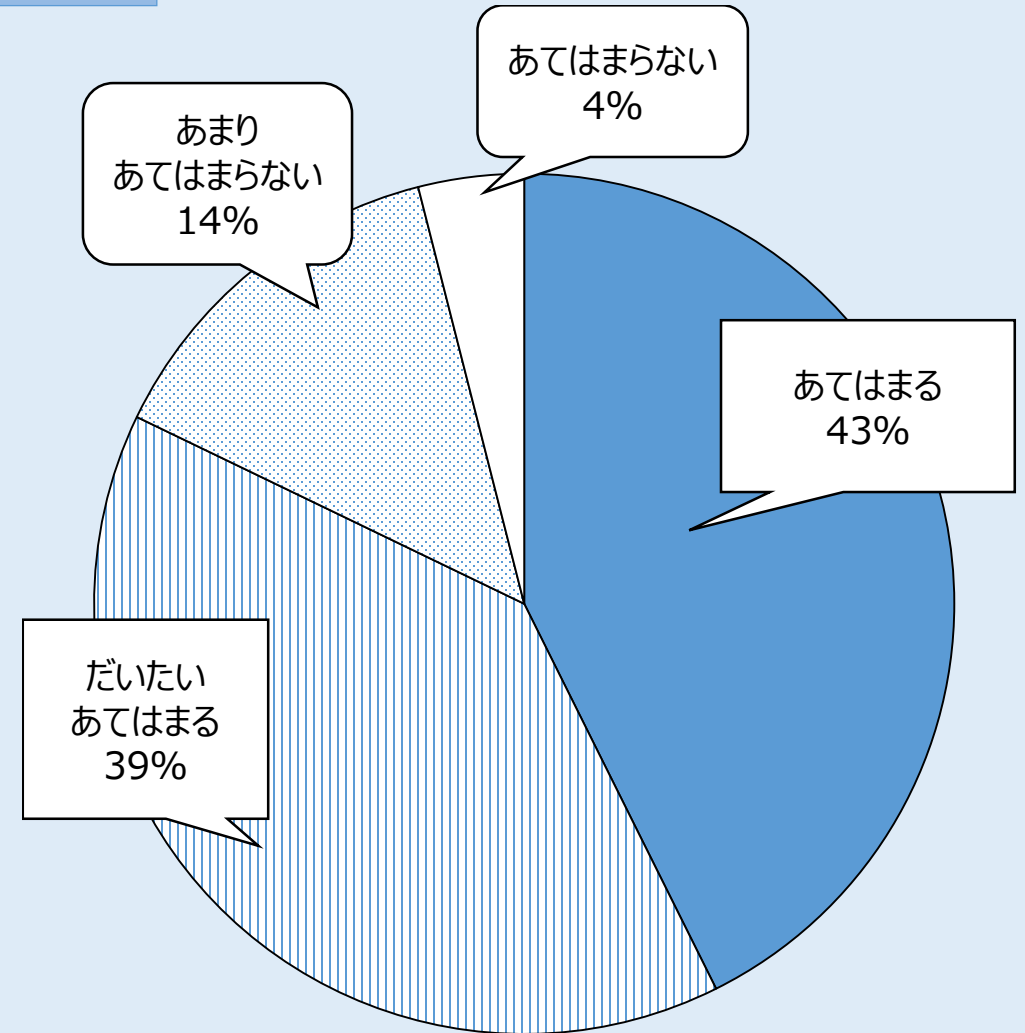


質問 8 毎日が楽しい

小学生

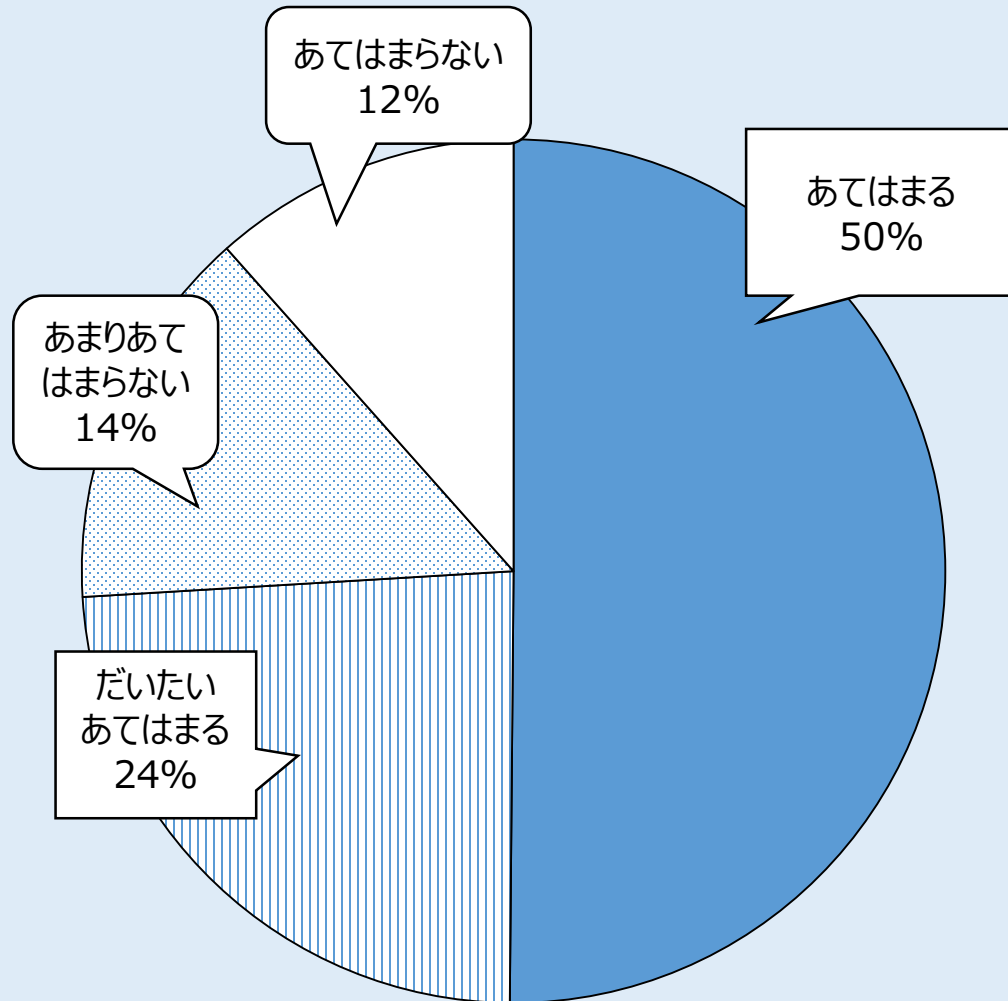


中学生

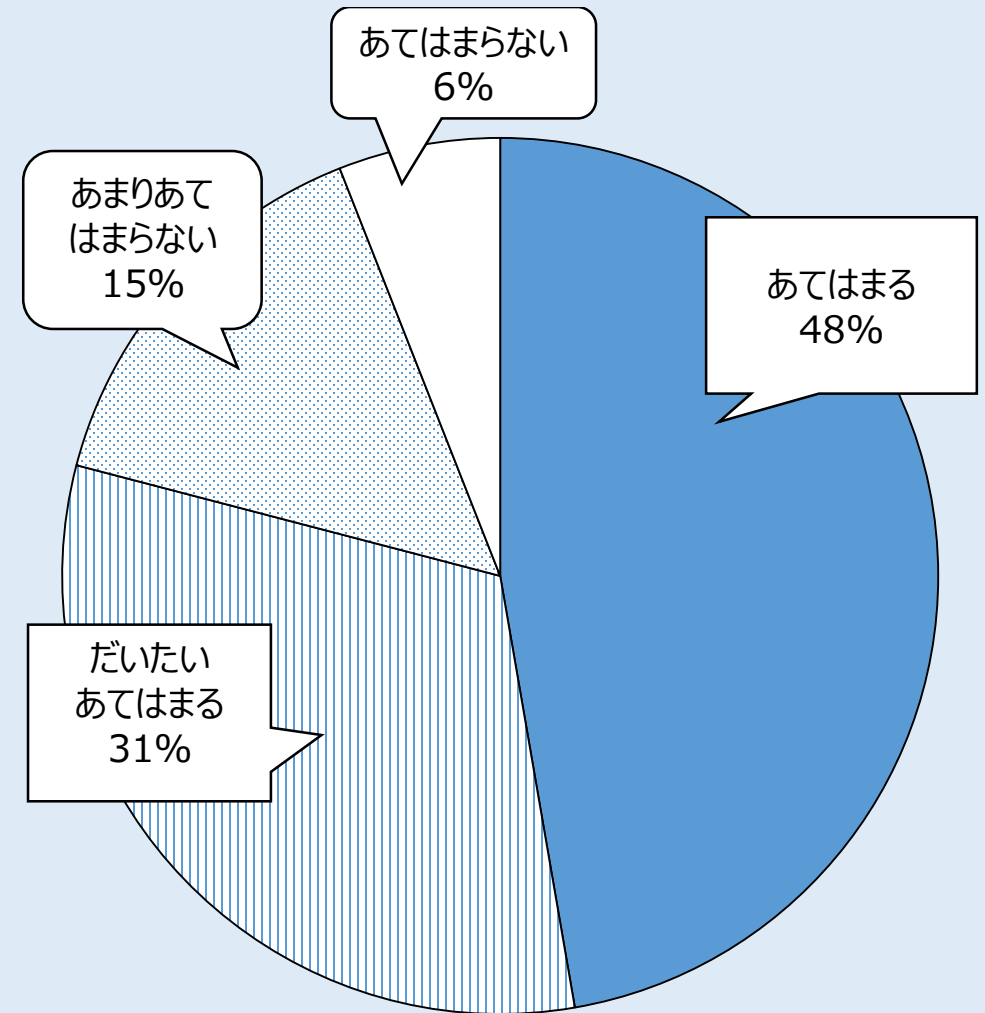


質問9 悩みごとを話せる人や場がある

小学生

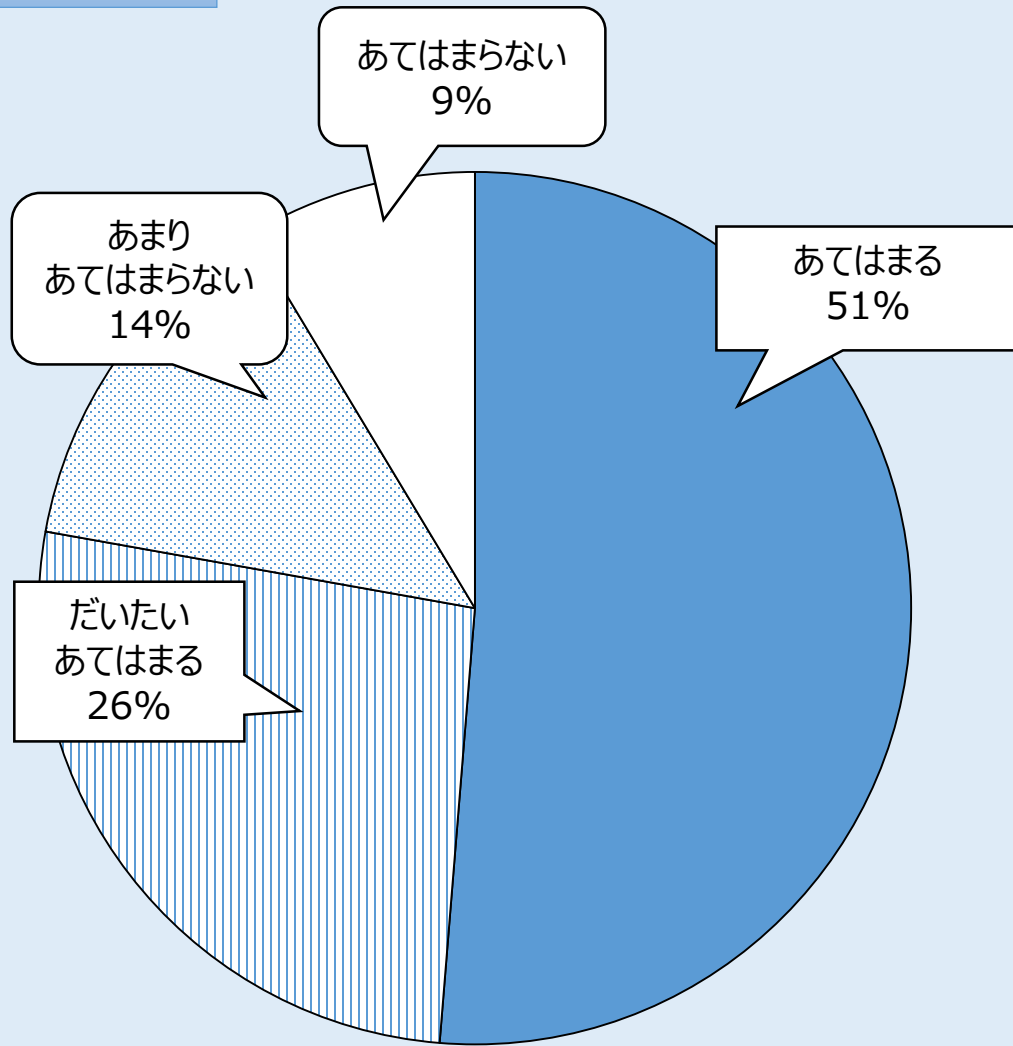


中学生

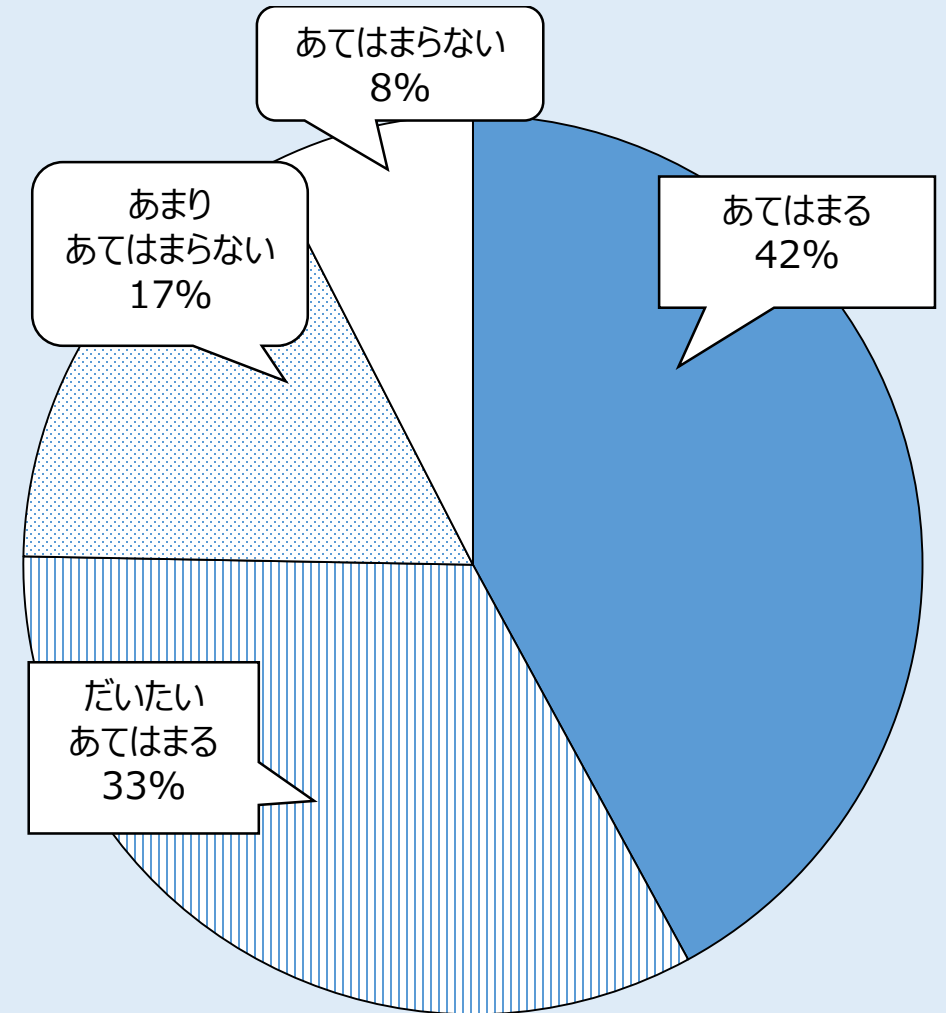


質問 10 困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる

小学生

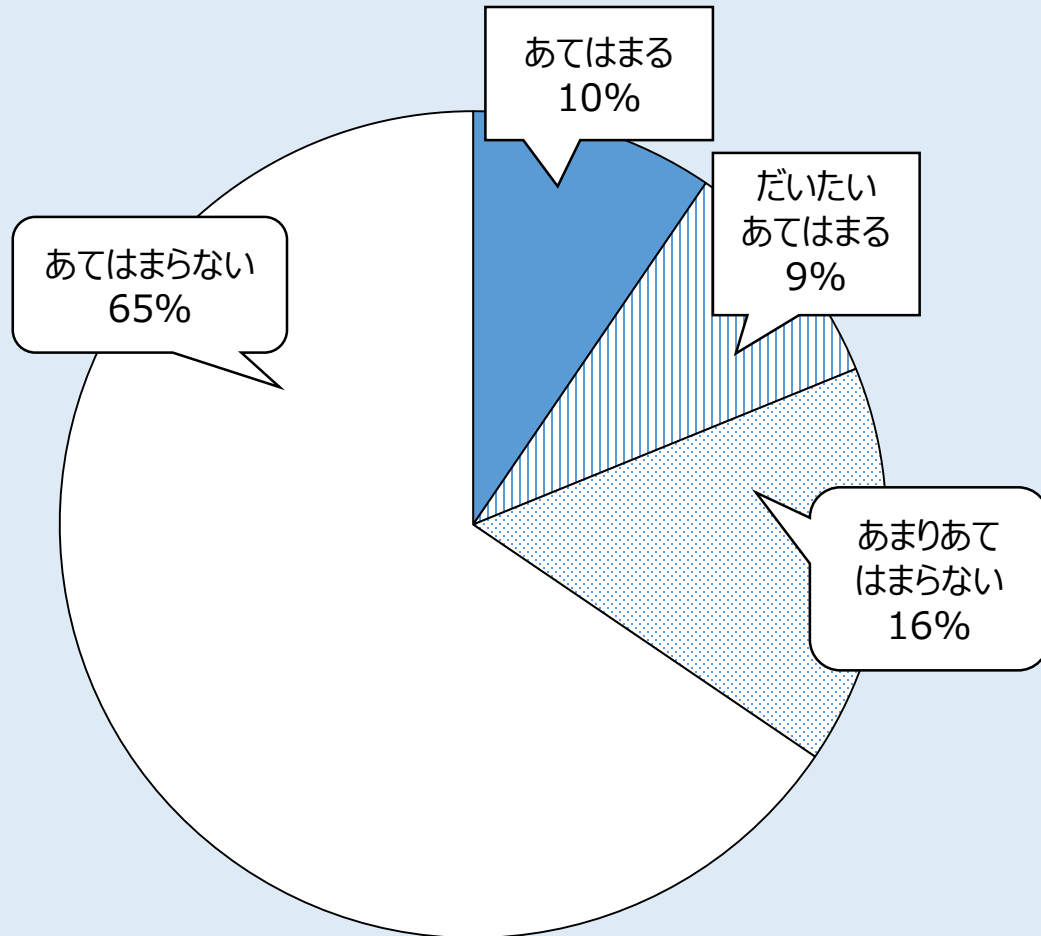


中学生

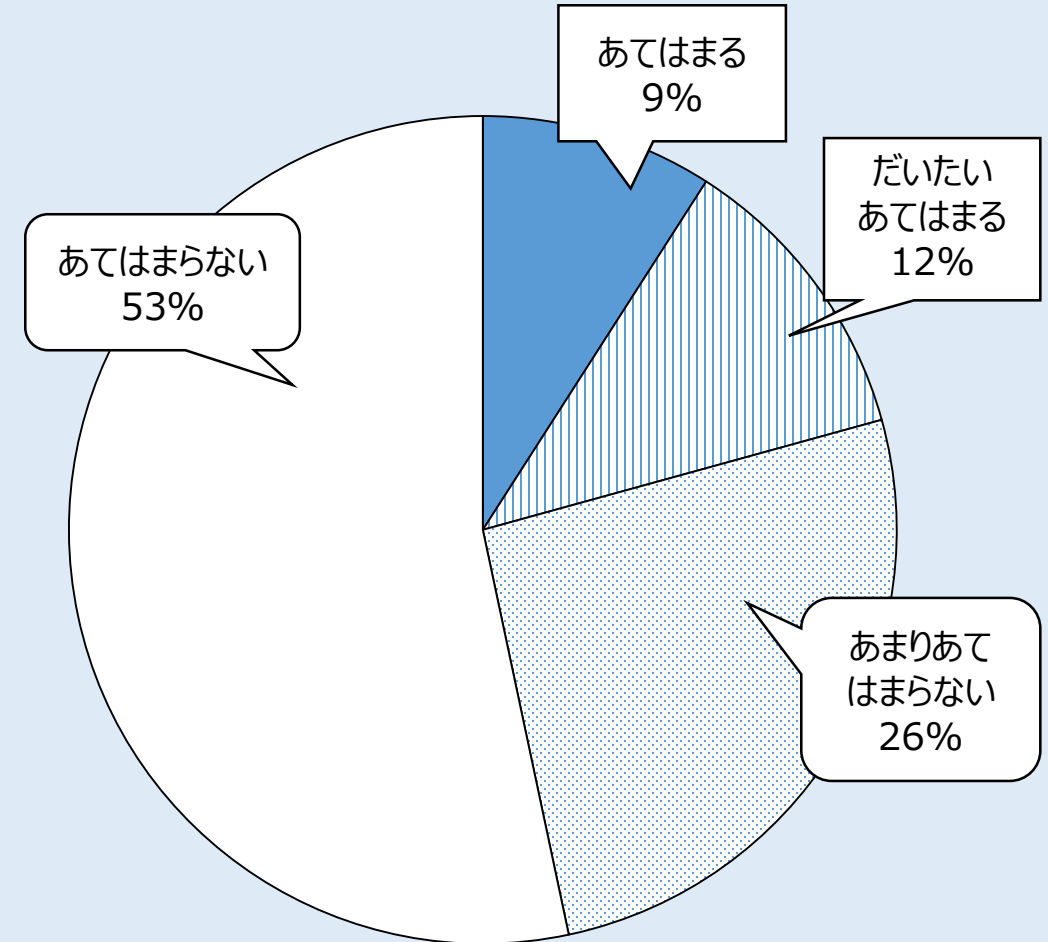


質問 1 1 学校や家で何か不安を感じたことがある

小学生



中学生



結果のまとめ

➤ ①気持ちの安定度について

- ・質問4、質問6で、前回に比べて小学生、中学生ともに「あてはまる」「だいたいあてはまる」が40%前後から35%前後に減少した。
- ・質問4、質問6は意識下のストレスが反映される質問でもあるので、2学期になりクラス的环境に馴れてきたことが減少の要因となっていると考えられる。
- ・質問11からおよそ20%前後の子どもたちが何かしら不安を感じていることがわかった。前回と今回の比較では大きな変化はなかった。

➤ ②生活の安定度について

- ・質問7において、中学生で「あてはまる」が大きく減っていた（10%減）。
- ・質問7の変化は背景として9月に部活停止になっていたことが影響していると考えられる。
- ・質問8を見ると、前回に引き続き80～85%の子ども達が毎日が楽しいと感じていた。

➤ ③困ったときにSOSが出せるかについて

- ・質問9、質問10は前回と今回で大きな差異はなかった。
- ・中学生ではおよそ80%の子ども達が悩みごとを話せる人や場があり、小学生は75%程度であった。困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることが出来る子どもは75%程であった。

➤ 実施後の取組

- ・アンケート調査結果と分析を前回との比較も含め市立小中学校教員へフィードバック
- ・個々の子ども達のアンケート結果を踏まえ、声かけや日常の様子を見守る
- ・SOSを発信しにくい子どもたちとの信頼関係づくりのためのアクションプランの継続